

労災疾病等医学研究普及サイトの御案内
「アスベスト」について

近年、アスベスト（石綿）関連疾患の労災認定件数は毎年 1,000 件前後と なっていますが、その中には他の疾患との鑑別が困難なものや診断方法が特殊 なものがあり、申請から認定までに時間を要するものも少なくありません。こ うした診断方法が難しいアスベスト関連疾患について、明確かつ簡易な診断方 法・指標を確立し、より適切な治療・予防に役立てることを目的として、当機 構では長年アスベスト関連疾患の診断等についての研究を行っています。

例えば、胸膜中皮腫は、他のアスベスト関連疾患との鑑別が困難であり、平 成 29 年度までの研究では、診断時に既に進行していることが多かったため、 新たな診断基準の確立を目指しました。胸膜中皮腫症例を全国から集め、胸水 に関するデータを抽出し、その結果、胸水中のヒアルロン酸の値などが、胸膜 中皮腫の診断材料として実用性が高いことを明らかにしました。

平成 29 年度までのアスベスト研究については、下記の「労災疾病等医学研 究普及サイト」からご覧いただけます。

<https://www.research.johas.go.jp/asbesto2015/>

平成 30 年度からは、明確な労災認定基準がない良性石綿胸水について、新 たな認定基準を確立することを目的とした研究を開始しました。過去に良性石 綿胸水と診断された症例を収集してその診断の妥当性について検討し、新たな 認定基準案を作成して論文化しました。詳細は『Journal of Occupational Health, 2021 年 1 月号 (Volume 62, Issue 1)』をご参照ください。

また、石綿肺がん患者の肺内にみられ測定が困難な石綿繊維について、その 種類や本数、職業歴との関連性についても研究してきました。

本研究成果を周知することで、専門医でなくても職業歴等から石綿ばく露量 を推定できるようになり、石綿肺がんの円滑な労災補償に繋がることが期待さ れます。

現在のアスベスト研究の詳細については、下記の「労災疾病等医学研究普及 サイト」をご覧ください。

<https://www.research.johas.go.jp/asbesto2018/>